

## 地域公共交通東北仕事人 活動レポート vol.1

### 【担当仕事人】

- ・若菜 千穂（所属：特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター）



（スライドを使い講演する若菜仕事人 260612）

平成 26 年 6 月 12 日山形県山形市にて「平成 26 年度生活交通研修会」が開かれ、地域公共交通東北仕事人である若菜氏が講師として招かれました。

同研修会は山形県内の市町村の地域公共交通担当者を対象に、地域公共交通についての最新情報の伝達や具体的な案件についての取り組み事例を紹介する等、参加者のスキルアップを目的とした研修会として開催されました。

具体的なプログラムとしては山形県の担当者より県の補助制度等について説明（10 分）があり、続いて当課課長より国としての補助メニューや平成 25 年度補助実績、新制度についての説明（30 分）がありました。

そして、最後に若菜仕事人の講演「公共交通づくりの勘どころ～公共交通の現場から～」(1時間)となりました。

若菜仕事人の自己紹介から始まり(公共交通の研究者には珍しく農学部を出て博士号をとられたそうです)常務理事を務めているNPO法人いわて地域づくり支援センターの活動を通じて感じたこと(なんでもやる、“いわせん”)、行政の交通担当者の苦悩(孤独で多忙…)、そして公共交通の勘どころ、とギュッと濃縮された1時間でした。

特に圧巻だったのが若菜仕事人の話の上手さ・説得力です。講演は1時間に渡り、スライドの枚数も68枚と多かったです。参加された50余名の方々は誰一人として寝ることも無く、相づちを打ちながら熱心に話に聞き入っていました。



(話を熱心に聞く参加者 260612)

長年公共交通に携わり具体的な事案を解決に導いた経験や、それを元にした公共交通選択の考え方、今後の公共交通の役割についての展望等、短い期間で異動してしまう行政の人間としては得難い貴重なお話を聞くことができました。

(講演内容を詳しく知りたい方は、同ページの“資料”よりご覧下さい)

また、個人的な感想ですが若菜仕事人はとても話しやすい方だと思います。この研修会が終わった後も、若菜仕事人を中心として市町村の担当者の方が集まり、笑顔で話されていたことがとても印象的でした。



(笑顔で市町村の方々とお話する若菜仕事人 260612)

#### 【終わりに】

発足したばかりの「地域公共交通東北仕事人制度」ですが、若菜仕事人を始め地域公共交通に対する深い知識・ノウハウと熱意を持った魅力的な仕事人がたくさん所属しています。

地域公共交通について悩みを抱えている方は是非ご相談下さい！

今後も仕事人の活動について定期的に報告していきたいと思いますので、ホームページのチェックをよろしくお願いいたします。

東北運輸局企画観光部交通企画課 渡邊